

# 家庭学習で学力アップ!

平成22年7月 埼玉県教育委員会

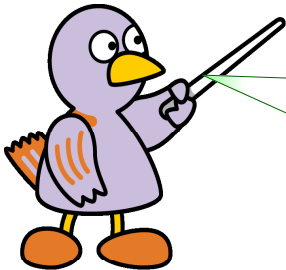
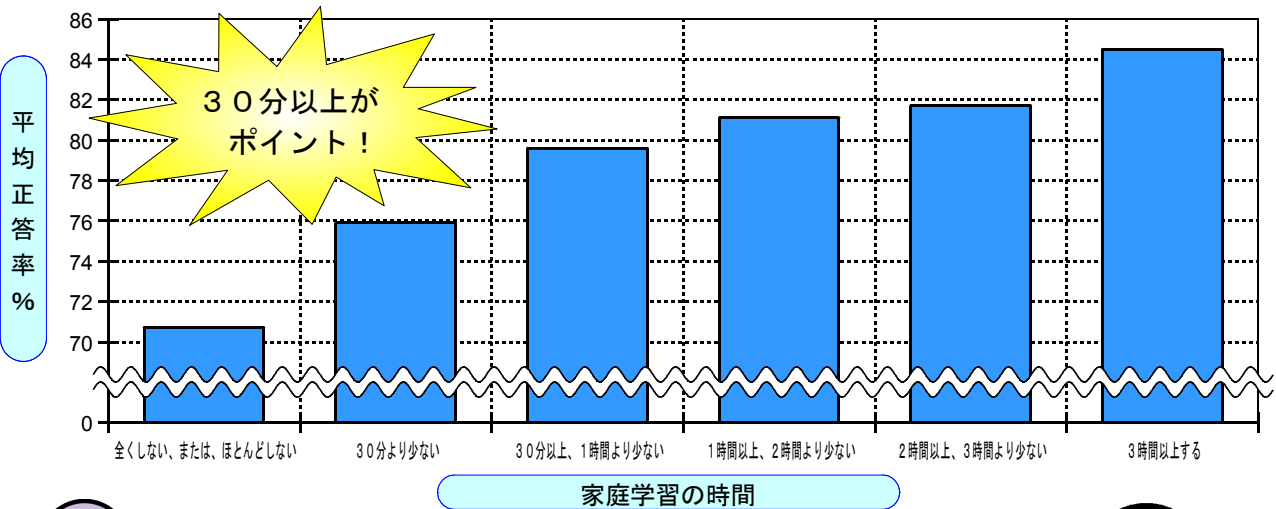
学力の向上には、学校での学習だけでなく、家庭での学習も欠かせません。家庭は子どもの興味・関心に応じて、内容や方法、ペースを自ら考えて学習したり、苦手なことに集中的に取り組んだりすることができる場所であるからです。家庭において学習する時間を決め、自ら進んで学習する習慣を身に付けさせることは大切なことです。

学力アップをめざし、お子さんと一緒に家庭での学習について話し合い、取り組みましょう。

## 家庭学習や読書の時間と学力の関係

平成21年度 埼玉県小・中学校学習状況調査(小学校第5学年)より

家庭学習時間と4教科(国語、社会、算数、理科)の合計平均正答率との関係のグラフ



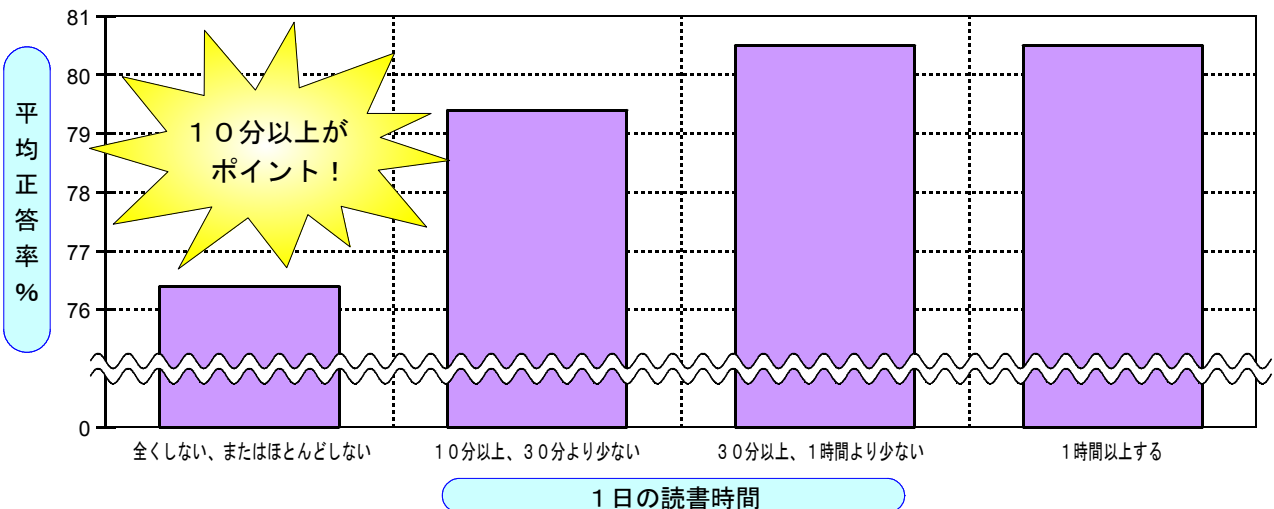
家庭学習する時間が30分以上あるかどうかで、こんなに結果が違います。

読書習慣のある子の方が、平均正答率が高いことがわかります。



埼玉県のマスコット「コバトン」

1日の読書時間と4教科(国語、社会、算数、理科)の合計平均正答率との関係のグラフ



## 家庭学習の内容は・・・

家庭で学習する内容はさまざまです。学校からの宿題はもちろんですが、次のような取組も行っていくと、学力の向上につながります。

- **自主学習**・・・学校の予習・復習をする（特に「復習」は大切です。夏休みなどの長期休業中〔学校での学習が進まない期間〕に、これまでの学習を確実なものにしておくといよいでしょう。）、興味をもったものを調べる、ものをつくる、教科書を音読するなど、お子さんの興味・関心に応じて進める主体的な取組です。やらされる学習から、**自ら取り組む学習**に変えることは、自分の学習に自信をもつようになり、学ぶ喜びにつながります。
- **読書**・・・本を選び、目標（何時までに、どこまで読むか）を決めて読書します。読み終わった本について記録をしていくと、取り組んだ成果が見えるようになり、意欲の高まりにつながります。

## 家庭学習を充実させるために

### （１）学習内容とお子さんの理解度・定着度を把握しましょう。

- 学校で学習したことを話し合しましょう。
- 教科書やノート、テストなど、理解や定着の様子を確認したり、話し合ったりしましょう。

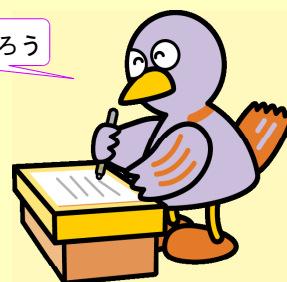
### （２）自ら進んで学習できるようにしましょう。

- 適度な目標を一緒になって決め、その目標を達成できるよう励ましましょう。

### （３）家庭学習を習慣化させましょう。

- 毎日、時間を決めて取り組むようにさせるとともに、その時間内に最後までやり遂げることができるように取り組ませましょう。
- ゲームやテレビの時間を決めたり、睡眠時間を確保したりするなど、お子さんの生活を見直し、学習時間をあらかじめ決めておきましょう。

今日はこれをがんばろう



### （４）学ぶ環境を整えましょう。

- 学習の場の整備・・・学習する場の確保、整理・整頓を心がけましょう。
- 家族の協力・・・学習しているそばでテレビを見ないなど、集中して学習できる雰囲気をつくりましょう。時には親子で新聞を読んだり、読書をしたり、一緒に問題を解いたりしてみましょう。

## お子さんの取組を励ますために

- 「よくやったね。」「がんばったね。」など、まず学習への取組に目を向け、努力していることをほめていきましょう。（できなかったことを責めることは、意欲を奪うことにつながりかねません。）
- 「続けることで、力がたくさんついてきたね。」  
「今日も目標どおりできたね。」「明日もがんばれるといいね。」  
「毎日、自分で学習することは素晴らしいことだよ。」  
などの言葉かけにより、継続を促します。
- 「昨日は計算をよくがんばったね。」「今日は何に挑戦するの?」と学習内容を確認する言葉かけも大切です。

ほめられると、やる気がでるな。

